

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公開番号】特開2008-38133(P2008-38133A)

【公開日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-79313(P2007-79313)

【国際特許分類】

C 08 L	7/00	(2006.01)
C 08 L	9/00	(2006.01)
C 08 K	3/04	(2006.01)
C 08 K	3/36	(2006.01)
C 08 K	5/053	(2006.01)
C 08 K	5/3415	(2006.01)
C 08 K	5/42	(2006.01)
B 65 G	15/34	(2006.01)

【F I】

C 08 L	7/00
C 08 L	9/00
C 08 K	3/04
C 08 K	3/36
C 08 K	5/053
C 08 K	5/3415
C 08 K	5/42
B 65 G	15/34

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月17日(2009.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

天然ゴム(NR)およびポリブタジエンゴム(BR)からなるゴム成分と、カーボンブラックと、シリカと、シランカップリング剤と、ジエチレングリコールとを含有し、

前記ゴム成分中の天然ゴムとポリブタジエンゴムとの量比(NR/BR)が、80/20~25/75であり、

前記カーボンブラックの含有量が、前記ゴム成分100質量部に対して15~35質量部であり、

前記シリカの含有量が、前記ゴム成分100質量部に対して5~25質量部であり、

前記シランカップリング剤の含有量が、前記ゴム成分100質量部に対して0.5~3質量部であり、

前記ジエチレングリコールの含有量が、前記ゴム成分100質量部に対して0.5~4.5質量部である、コンベヤベルト用ゴム組成物。

【請求項2】

更に、1,3-ビス(シトラコンイミドメチル)ベンゼン、および/または、ヘキサメチレン-1,6-ビス(チオサルフェート)ニナトリウム塩二水和物を含有する、請求項

1に記載のコンベヤベルト用ゴム組成物。

【請求項3】

前記1,3-ビス(シトラコンイミドメチル)ベンゼン、および/または、前記ヘキサメチレン-1,6-ビス(チオサルフェート)ニナトリウム塩ニ水和物の含有量が、前記ゴム成分100質量部に対して0.1~2質量部である、請求項2に記載のコンベヤベルト用ゴム組成物。

【請求項4】

前記シリカの窒素吸着比表面積(N<sub>2</sub>SA)が、100~250m<sup>2</sup>/gである請求項1~3のいずれかに記載のコンベヤベルト用ゴム組成物。

【請求項5】

前記ポリブタジエンゴム(BR)が、末端変性ポリブタジエンゴムである請求項1~4のいずれかに記載のコンベヤベルト用ゴム組成物。

【請求項6】

20の測定温度下で、10%伸張させ、振幅±2%の振動を振動数10Hzで与えて測定した損失係数tanが0.04~0.07となり、

下記式[1]に示すエネルギークロス指数(H)が0.080以下となる、請求項1~5のいずれかに記載のコンベヤベルト用ゴム組成物。

$$H = (SpGr \times \tan) / M_{25} \quad [1]$$

ここで、SpGrは、20での比重(g/cm<sup>3</sup>)、tanは、20の測定温度下で、10%伸張させ、振幅±2%の振動を振動数10Hzで与えて測定した損失係数、M<sub>25</sub>は、25%伸び時における引張応力(MPa)である。

【請求項7】

上面カバーゴム層、補強層および下面カバーゴム層からなるコンベヤベルトであって、前記下面カバーゴム層の少なくとも裏面表面が、請求項1~6のいずれかに記載のコンベヤベルト用ゴム組成物により形成される、コンベヤベルト。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

(6)20の測定温度下で、10%伸張させ、振幅±2%の振動を振動数10Hzで与えて測定した損失係数tanが0.04~0.07となり、

下記式[1]に示すエネルギークロス指数(H)が0.080以下となる、上記(1)~(5)のいずれかに記載のコンベヤベルト用ゴム組成物。

$$H = (SpGr \times \tan) / M_{25} \quad [1]$$

ここで、SpGrは、20での比重(g/cm<sup>3</sup>)、tanは、20の測定温度下で、10%伸張させ、振幅±2%の振動を振動数10Hzで与えて測定した損失係数、M<sub>25</sub>は、25%伸び時における引張応力(MPa)である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

(7) 上面カバーゴム層、補強層および下面カバーゴム層からなるコンベヤベルトであつて、

上記下面カバーゴム層の少なくとも裏面表面が、上記(1)～(6)のいずれかに記載のコンベヤベルト用ゴム組成物により形成される、コンベヤベルト。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】